

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内
入試情報
教育・学生生活
研究
社会連携
留学・国際交流
学部・大学院等
研究所・施設等
広報・報道
採用情報
校友会・同窓会
支援財団・基金
図書館・博物館等
大学病院
附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成17年1月-12月](#) > 元教員の非違行為に関する調査結果報告について

元教員の非違行為に関する調査結果報告について

報道機関各位

平成17年10月31日
国立大学法人 広島大学
情報化推進部広報課長

広島大学原爆放射線医科学研究所
元教員の非違行為に関する調査結果報告について

広島大学原爆放射線医科学研究所(所長:鈴木文男)では、本年3月に教授(当時)が受託収賄容疑で逮捕されたことを重く受け止め、問題点の調査と改善策を検討する調査会を設置し、検討してまいりました。このたび、調査結果がまとまりましたので、下記のとおり報告いたします。

【お問い合わせ先】
広島大学原爆放射線医科学研究所 所長 鈴木文男
TEL:082-257-5800

原爆放射線医科学研究所教員の
非違行為に関する調査結果報告書

1. 調査会の設置

研究所では、職員の服務については綱紀肅正に勤めてきたところである。しかし、誠に残念ながら、平成17年3月3日に当研究所ゲノム疾患治療研究部門腫瘍外科研究分野(以下「腫瘍外科」という。)の教授(当時)が受託収賄容疑で逮捕される事態が発生した。研究所としてはこの事態を重く受け止め、3月4日に教授会の下に問題点の調査とその改善策を検討する調査会を設置し、計8回の調査会を開催した。

2. 調査

この度の逮捕容疑は、県外の民間病院への医師派遣に伴う受託収賄とされている。そこで、事件の背景となった腫瘍外科医局における医師派遣の方法、関連病院の認定法、関連病院等からの研究資金の受け入れ等について調査し、改善策として次の検討を行った。

(1)問題点

- 腫瘍外科の関連病院への医師派遣については、医局長が医局員全員の意向を尊重しながら素案を作成していた。しかし、最終段階で医局長が教授の意見を重視して医師派遣先を調整しており、教授の独断と強権性を生む土壌となった可能性は否めない。
- 腫瘍外科においては、新たな関連病院の紹介は主に教授に対してなされていたが、認定の為に明文化したルールや文章は存在しない。
- 教授会には関連病院への医師派遣や関連病院の認定についての報告がなく、このような情報の不開示が医局の閉鎖性を助長した可能性がある。

(2)改善策

- 関連病院への医師の派遣に関しては「ひろしま地域医療協議会」を積極的に活用する。関連病院への医師派遣の増員、減員や新たな関連病院の認定は、「ひろしま地域医療協議会」の審議に基づいて決定する。
- 医局内に関連病院への医師派遣に関する関連病院委員会(仮称)を組織する。教授は、この委員会の構成員としない。関連病院委員会は、医局長や関連病院医師に対してアンケート調査等を実施し意見集約に努め、医師派遣に関する人事案を作成し教授の承認を得る。教授は、この人事案とその作成経過を教授会に報告する。
- 関連病院名は、教授会に報告するものとする。

平成17年9月22日
広島大学原爆放射線医科学研究所調査会
座長 神谷 研二
委員 鈴木 文男(研究所長)
委員 木村 昭郎
委員 瀧原 義宏
委員 大瀧 慈

広大公式アカウント一覧

 Twitter
 Facebook (日本語版)
 Facebook (英語版)
 YouTube
 行事カレンダー
 ストリートビュー
 キャンパスカメラ
 学内ポータル

